

はと  
九鳥の峯  
みね

No.20  
2011  
7.1

平成23年7月1日



## ハマヒルガオ(浜昼顔)

### 主な内容

振興会総会	2P
陶芸まつり	2P
賑わい創出事業	2P
球技大会	2P
春季例大祭	3P
還暦同窓会	3P
ウミガメ来る	3P
古希同窓会	4P
高浜ぶどう	4P
編集後記	4P

ヒルガオ科ヒルガオ属の多年草。典型的な海浜植物であると百科辞典にある。茎は砂の上を這い葡萄(ぶくろ)性植物となって茎が砂に埋もれて葉だけ出る。葉はやや丸くて基部は左右に張り出す。葉はつやのある緑で厚みがあり花は5~6月に咲き色は淡紅色である。

今年も白鶴浜の所々に咲き誇っています。しかし、以前は熊本県内の海水浴場には群生していましたが、今は人工的に砂の異動、海水浴の客による踏圧などにより激減して、熊本県では高浜と茂串だけにしか生育していないそうです。わたしたちもこの環境を次世代に残していく責任があるのではと思いました。

ちなみにハマヒルガオの花言葉は「絆」です。

## 振興会総会



4月18日、高浜地区振興会の総会を開催しました。会の冒頭、東北地方大震災の被災者への黙祷を行い、議題へと進行しました。今回の総会では22年度の事業・決算報告、23年度事業計画・予算案が提案され、承認されました。本年度の目玉として、高浜ぶどう復活への取組みとガイドマップの作成を計画しています。出席者からは花作り事業や地震津波の避難について意見を要望がありました。

また、総会の挨拶において天草町の五つの小学校統合の話がありました。年々、過疎化と少子化が叫ばれるなかで、今後振興会の活動が重要な役割を担います。皆様のご支援とご協力が必要です。

## 春の陶芸まつり賑わう

高浜地区振興会副会長 大里 集

恒例の天草西海岸春の陶芸まつりが開催されました。高浜地区振興会では上田陶石会場において、手作りバザーや青空市、上田本家役宅庭園では茶道に親しんでもらおうと野立も催され、大盛況でした。陶芸まつりの期間中、来場されたお客様に高浜の歴史や人物を知つていただきこうと、ボランティアガイドにも取り組みました。お客様から、「陶芸まつりにはアガイドにも取り組みました。お客様から、「陶芸まつりには来ていましたが見るだけでした。」「今回は資料館、役宅庭園とガイドしていただき、高浜の歴史と、地域のことを思い行動した先人達の努力が分かりました。」と、喜んでいただきました。時間の都合上、赤崎邸までガイドできなかつたのが残念です。今後も勉強会を重ね高浜地区振興会のために、地域の皆様と一緒に頑張って行きたいと思います。陶芸まつりにご協力いただいた、地域の皆様にお礼申し上げます。



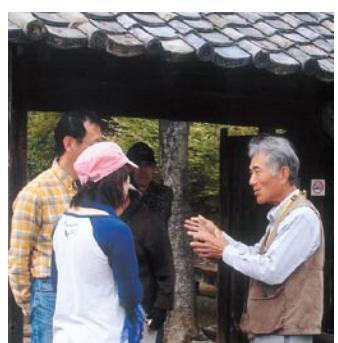
## 賑わい創出事業 これまでとこれから

家・赤崎邸など「歴史財産」の掘り起しや、もちより市場での「青空市」の開催、将来のビジネスを見据えた「高浜ぶどう」の復活等々まちづくりや賑わいを取り戻すため、自分たちに出来ることは何かと様々な企画・検討をしながら活動を進めています。

今後、その活動のための資金をどうするかなど課題はありますか、地域活性化のため、またその実現のため、これまで以上に地域の皆さんのご支援・ご協力が欠かせなくなります。

先般の陶芸まつりでは、「ボランティアガイド」が実施され来場されたお客様は大変好評の様でした。

7月16～18日には、九州大



学の藤原教授を講師に招き、高浜にてフィールドワークを行なう予定です。

## 高浜地区 球技大会



### ◎第4回 高浜地区 ミニバレー大会

順位	優勝	松下
2位	白木	
3位	元内峰A	
2位	白木B	
3位	諫訪A	
2位	白木C	

### ◎第4回 高浜地区 グラウンドゴルフ大会

順位	優勝	白木
2位	白木	
3位	元内峰A	
2位	白木B	
3位	諫訪A	
2位	白木C	

5月15日、高浜地区球技大会が開催されました。グラウンドゴルフとミニバレーに各道の選手の皆さんは、初夏のこの日にさわやかな汗をかいていました。成績（結果）は次のとおりです。

# 高浜八幡宮 春の例大祭



▲八坂神社前にての太鼓踊り



▶行列のようす



正月2日、昭和42年3月高浜中学校卒業生の還暦同窓会を行いました。同窓会の冒頭での、小・中学校時代の写真を編集した映写会では、身を乗り出して見入つて頂き、懐かしい子どもたちがいつもの年よりも住民の皆さんも笑顔で道中も大変賑わっていました。

正月2日、昭和42年3月高浜中学校卒業生の還暦同窓会を行いました。同窓会の冒頭での、小・中学校時代の写真を編集した映写会では、身を乗り出して見入つて頂き、懐かしい子どもたちがいつもの年よりも住民の皆さんも笑顔で道中も大変賑わっていました。



（在郷同窓生）  
これから的人生も、同級生の皆さんのが健康で幸せに過ごせますよう故郷の地からいつも願っています。

# 高浜中学校卒業生 還暦同窓会

ウエガメ  
来る!!



6月14日午前5時頃、白鶴浜にアカウミガメが産卵に来ました！第一発見者は釣りに来ていたお客様でした。話を伺うと、体長は1mを超えていたそうで、産卵を間近で見れたそうです。  
熊本県の希少動植物調査員である宮口さんにより卵の確認と、保護のため卵の移動が行われました。  
今年のアカウミガメの上陸は2度目だつたそうですが、確認された卵は108個でした。今後、産卵から約50日前で孵化し、海へ旅立ちます。  
世界中で自然環境の破壊や悪化が叫ばれていますが、まだ高浜にはカメが来てくれます。この自然をいつまでも大切にしたいものです。

温かい善意のご寄付  
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

## 古希同窓会

### 子どもの頃の面影を残してた

神奈川県 小川正人  
(S33年卒業生)

香典返し  
片浦 初雄様  
(故・マツエ様) 宮の前  
松下 幸善様  
(故・サミエ様) 諷訪  
中田 和孝様  
(故・市由様) 諷訪  
山田 喜水様  
(故・忠義様) 諷訪  
中嶋トミエ様  
(故・秀市様) 諷訪  
山下ヤツエ様  
(故・實様) 諷訪  
山切 奈弥様  
(故・大輔様) 元向  
川原一二三様  
(故・久彌様) 内野  
山田 良次様  
池田 ユキミ様  
内野 美子様  
宮口 邦子様  
秋田 達也様



### 一般寄付

広報郵送料

浜の思い出、昔一緒に田舎で育った仲間達が50数年を経て集まり、始めは誰かな?!と、戸惑つたりしましたが、確かに子どもの頃のアクセントが残つており、自然がイッパイあつた昔、海や山で遊んだ頃の思い出、子どもの頃のままの笑顔、微笑み、互いに懐かしかつた。

久しぶりの天草の潮の薰り、山や川や風の香り、悠久の天草の匂い、身体に染ませてもらいました。

田舎の同窓の仲間達には、日頃田舎を後にして振り返ろうことの出来ない、残した私達の兄弟・親戚や身内の日々のお付き合いから、何かといつたお世話の数々や面倒に努めていただいていること、に有難く感謝させられました。

4月15日の古希同窓会、高浜の思い出、昔一緒に田舎で育った仲間達が50数年を経て集まり、始めは誰かな?!と、戸惑つたりしましたが、確かに子どもの頃のアクセントが残つており、自然がイッパイあつた昔、海や山で遊んだ頃の思い出、子どもの頃のままの笑顔、微笑み、互いに懐かしかつた。

達は、姿かたち、生き様や年齢での貫禄や重さを感じさせられましたが、幼少の心は旧友、再会という安心感から裸のままで、変わつていませんでした。何よりも嬉しかったです。



## 高浜ぶどう

### ～昔日の風景～



「高浜ぶどう」は現在見事に根付き、手作りの棚に枝を伸ばし葉を広げています。育成されている苗同様に、今後の成長が楽しみです。

これから梅雨末期の大雨、台風の時期となり、管理が大変になりますが、昔の風景を復活すべく、勤労者体育館の横で苗の育成を行っています。前号でお知らせした挿し木は、4月上旬に芽吹き、葉をつけましたが、残念ながら梅雨前に枯れた苗も一部見受けられました。6月初旬、専門家に再度見て頂いた結果、まだ発根の状況が良くないとのことで、しばらく同じ場所での育成を行うことになりました。

田舎を取り巻く環境は進化という形で変わりましたが、一つの田舎で育つた幼かつた時代の友達を切り離すことはなく、また、時代とともに田舎の風景も大きく変化してしまった。しかし、その一方で、田舎の良さや、人々の温かさは、ほとんど変わっていません。田舎の風景は、時代とともに変化するが、その中で、人々の心は変わらぬままであります。

### 編集後記

## 高浜地区

(平成23年6月1日現在)  
人口 1,418人  
男 654人  
女 764人  
世帯数 683戸  
高齢化率(65才以上)  
611人 (43.09%)

変になりますが、昔高浜のどこでもあった風景を取り戻すべく、プロジェクト「ぶどう班」一丸となつて取り組んでいます。皆様のご理解ご協力をお願いします。